

## 夏季休業中留学体験報告 No. 1

この夏留学した東高生は4人います。今後も引き続き報告します。お楽しみに！

今年の夏休み期間中、1年2組の本田琴音さん（川口中出身）が「トビタテ！留学 JAPAN」の高校生コースから、2年4組の上米良れもんさん（白糸中出身）と竹之内倅乃さん（青葉中出身）と野村花帆さん（青葉中出身）が「府立高校生グローバルチャレンジ500」から補助を得て留学しました。今回は本田琴音さんの留学体験を報告します。

### 本田琴音さん（川口中出身）～ニュージーランドへ留学～

#### 1. どのような研修でしたか。

ニュージーランドに3週間行ってきました。語学学校での語学研修のほかに、現地の支援学校を訪問し、バリアフリーなどの障害者支援について調査しました。

#### 2. どのようにして留学の計画を立てたのですか。

日本の障害者支援を知ることから始めました。インターネットで調べたり、実際に日本の支援学校の先生にお話を聞くなどして調査内容の計画を立てました。

#### 3. 1番印象に残ったことは何ですか。

ホストファミリーとの生活です。5人家族でした。3人の小さな女の子の姉妹と遊ぶ毎日には本当に楽しかったです。楽しいだけでなく、自然に語学を学ぶこともできたので、とても印象に残っています。

#### 4. 今後頑張りたいことは何ですか。

今回の経験を自信に変えてたくさんの方にチャレンジしていきたくです。3週間のコミュニケーションで自分の語学がまだまだだめだということを知りました。だからこそ、今以上に英語の授業に集中し、がんばっていきたくです。

#### 5. 東高生に伝えたいこと

少しでも海外に興味があれば行ってみてください。「トビタテ！留学 JAPAN」は海外で自分の興味があることに挑戦することをサポートしてくれます。ぜひ、応募してみてください。



地元のラジオ放送局 FM まいづるに2回出演しました！留学前の心境と留学後の経験談をお話しました。

### 2017年度

## 東高生留学報告会

春休みや夏休みに海外留学をした東高生による報告会を行います。留学に興味のある人、外国について知りたい人はぜひ参加してください。

日時：9月29日（金）3時40分～

場所：LL 教室

発表予定者：

- 1年2組 本田琴音さん
- 2年4組 上米良れもんさん
- 2年4組 竹之内倅乃さん
- 2年4組 野村花帆さん

参加希望者は、**9月26日(火)**までに国際教育部(野田)に、申し出て下さい。

## 神戸女学院大学「絵本翻訳コンクール」に3人の生徒が応募しました！

1年5組の沓澤瞳さん（白糸中出身）、高橋侑花さん（和田中出身）、山田瑞希さん（白糸中出身）が夏休み中に神戸女学院大学主催「絵本翻訳コンクール」に応募しました。応募し終えた3人に取り組んだ感想をインタビューしました。

### 1. なぜ応募しようと思ったのですか。

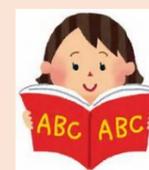
- ・先生に勧められて興味を持ったので応募しました。（沓澤さん）
- ・絵本や翻訳に興味があったので応募しました。（山田さん）
- ・英語の本を読んでみたかったので応募しました。（高橋さん）

### 2. 実際に翻訳してみてどんな感想を持ちましたか。

- ・小さい子どもでも読める表現を工夫するのが難しかったです。（山田さん）
- ・対象年齢を考えて誰でも読める翻訳を考えるのが難しかったです。（沓澤さん）
- ・英文はいろんな日本語に訳せるから、中でもぴったりの日本語に訳するのが難しかったです。（高橋さん）

### 3. 今後どんなことに挑戦してみたいですか。

- ・他にも英語の絵本を読みたいです。（高橋さん）
- ・1冊の英語の本が読めるようになりたいです。（沓澤さん）
- ・英語の表現方法からいろいろ学んだので、もっといろんな英文を読みたいです。（山田さん）



## Namaste ～ネパールからの手紙～

昨年度から、青年海外協力隊員としてネパールでボランティア活動をしている英語科吉積勇人先生からのメッセージをお届けします。

皆さんナマステ！ネパールは雨季真っ只中にあり、タライ地方(インドとの国境)では洪水被害が多発しています。私の村には一日一本バスが通るはずなのですが、雨季の間はバスが村まで来ないことも多く、その場合2時間ほど最寄りのバス停まで歩かないといけません。

さて、早いもので私が任地へ着任してから1年が経ちました。そこで、遂に要請内容であった避難訓練を実施しました。私の学校では2年前の大地震の影響で、窓もドアも壁もない教室が存在していました。ネパールは日本ほど地震が来る国ではありません。さらに政治的にも経済的にも不安定であるため、先の見通しを持って準備、計画することが苦手な人が多いです。そのため、避難訓練を行ったことが無く、地震について誤解していることも多々あります。日本では当たり前の避難訓練ですが、ネパール人達には新しいもので、やる必要があるの？ぐらいの印象のようです。我々青年海外協力隊 教育チーム主導によって、学校の先生を対象に日本の避難訓練や、避難経路の作成を行いました。翌日は実際にネパール人のみで避難訓練を実施し、なんとか終わることができました。そこまでは従来通りの研修なのですが、今回は JICA 関西率いる現役の先生方が11人私の村へ来てくれました。カトマンズから4時間かかるほど田舎なので、生徒達は外国人に触れる機会は皆無で、日本から持ってきた折り畳み式ピアノやシャボン玉、竹刀等を見て、目を輝かせていました。閉鎖的な村において、このような訪問授業は子供達にとって一生の思い出にもなり得るのかなあ？と個人的には思っております。私もネパールの子供達の記憶に残る活動ができるよう残り8カ月頑張ります。

